

エチオピアのCOVIDをめぐる状況

1) 変わったこと

- ・コロナ感染経路は、国外からの持ち込みから市中感染がメインに
- ・無症候～軽症患者を「施設隔離」する方針から「自宅隔離」の選択肢へ
- ・首都を含むすべての州で感染が確認される状況へ
- ・COVID診断は保健当局が来て行う→市民が病院受診して受ける形へ
(診断結果は保健当局が電話かSMSで知らせる仕組みへ)
- ・治療／隔離の終了時に確認のためのPCR検査は実施されない取り決めに
- ・Silk Road総合病院など治療実績をあげる私立病院が出てきた
(特別契約なしには治療は受けられない現実)

2) 変わっていないこと

- ・当地COVID感染は未だピークを越えたとはいえず、引き続き要注意
(なのに入国規制等はすでに緩和の方向へ動いている現実)
- ・重症化した場合の治療施設の大半は公立病院で、施設内環境はさほど改善していない

エチオピア国内におけるCOVID-19感染者情報

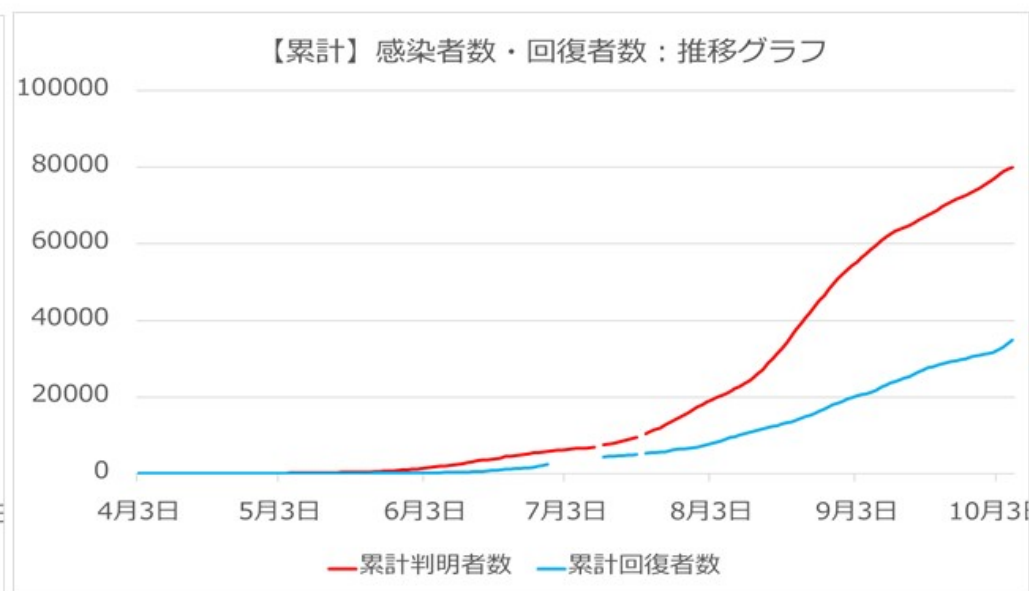
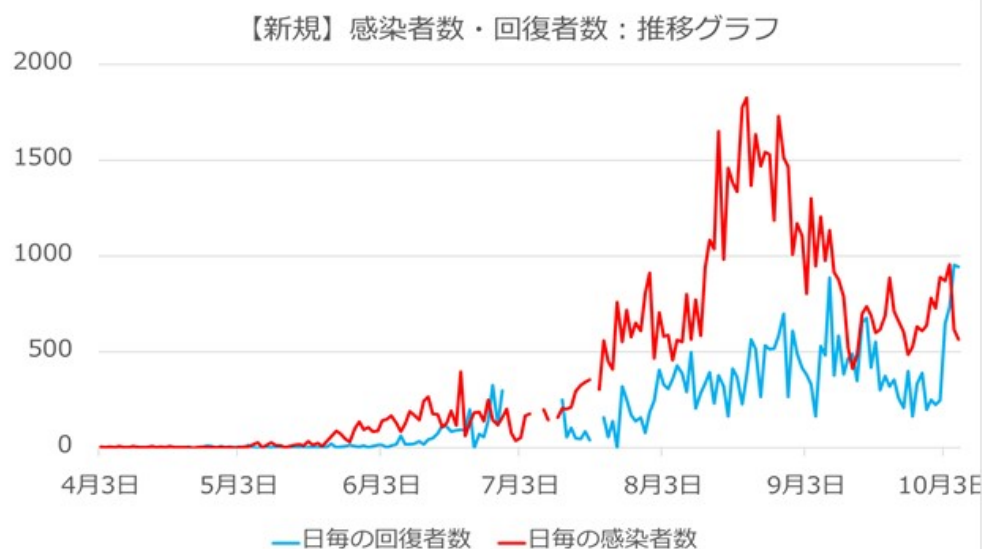
令和2年10月
在エチオピア日本国大使館

エチオピア国内で陽性判明者が初めて見つかったのは3月13日。

6月30日の大規模デモから保健省発表は一時中断されていたため、本資料では一部情報が抜けています。

<10月6日：感染者情報>

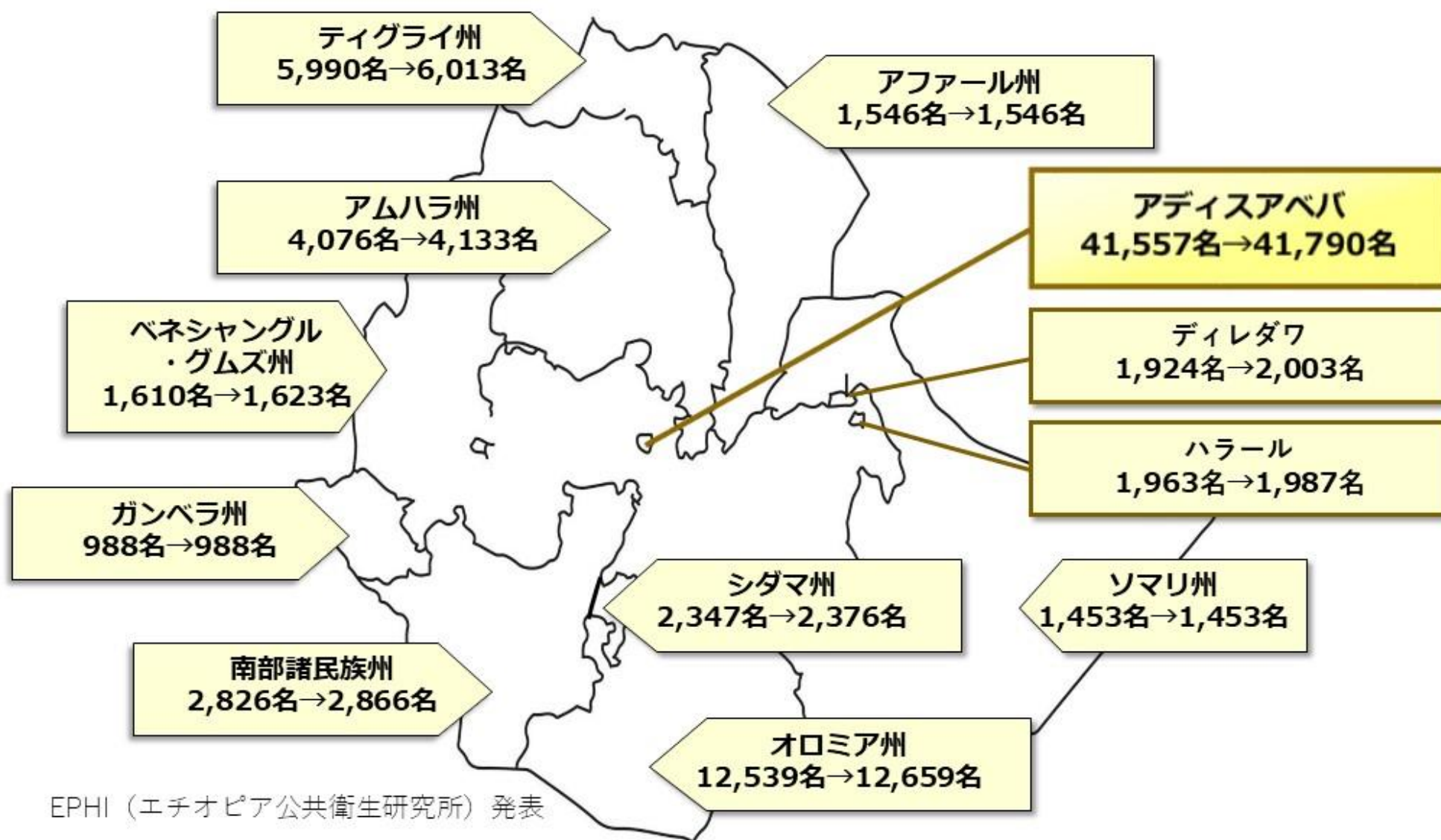
- ・累計感染者数：80,003人
- ・累計死亡者数：1,238人
- ・累計回復者数：34,960人





エチオピア各州別の感染者情報

※10月5日（4日との比較）



EPHI（エチオピア公共衛生研究所）発表



Home Based Isolation and Care (自宅隔離とケア)指針



自宅でCovid 19の治療を受ける場合の条件

- 第1項 自宅でCovid 19の治療を受けることを希望する者。
- 第2項 軽症又は無症状である者。
- 第3項 自宅隔離中、自分で療養できる、又は補助者がいる者。
- 第4項 食料その他の生活必需品の調達を可能である者。
- 第5項 同じ家に同居する家族が清掃用具やマスクを調達できる。
- 第6項 がん、HIV、結核、アレルギー患者と同居していない者。
- 第7項 (期間中は)外出しないこと及び他人を自宅に呼ばないことを約束する者。
- 第8項 (自宅に)患者が隔離できる部屋があるか、他の家族と十分なディスタンスを保つスペースがある者。
- 第9項 保健省関係者からのサポートに快く応じる者。

(日本大使館HP掲載から抜粋)

コロナ感染を疑ったら診断のためにどうする？



コリアンホスピタル; MCM正面玄関前
(10月1日撮影)

3月・4月
診断は保健当局が
直接行っていたが、

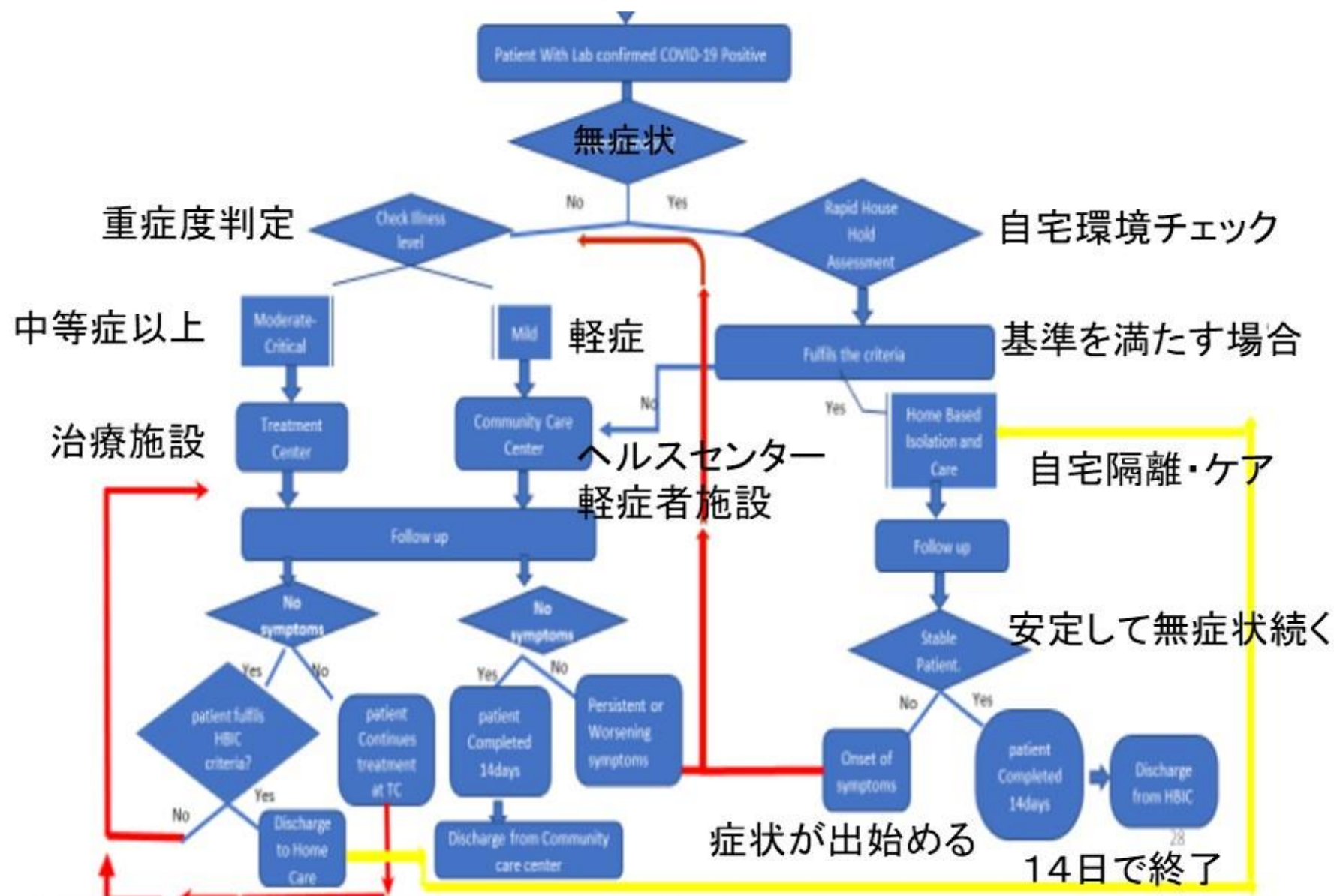
現在、
COVID診断の前線は
市中病院やHealth Centre

病院で検査を受けた検体が
保健当局指定の検査所へ
運ばれる。

問題点:

- 1) 私立病院は診断までを
担うが、治療は公立に集中
- 2) PCR結果判定までに
1~3日かかる
(検査待ち期間の隔離)

COVID検査で陽性と診断されたら



重症化した場合の治療施設は？

公立病院 (Yeka Kotebe病院)



私立病院 (Silk Road総合病院)



- 政府認可を受けたCOVID治療施設の大半は公立病院で、私立病院は僅か
- 私立病院で実績を示すSilk Road病院は予め特別契約なしには治療は受けられない
- 公立施設内の入院環境はトイレを中心に未だ大きな改善は期待できない
- 10月1日現在、国内に重症治療用ベッドは653床ある
- 海外旅行者保険に付帯する緊急移送サービスなども考慮する必要あり

お伝えしたいこと

1. COVID感染症状は様々ありますが「高熱、息切れ、呼吸困難」など特に肺炎の徴候がある場合は躊躇わず病院を受診して下さい。
早期の診断が重症化を止める第一歩になります。
2. 迷った時にはご連絡下さい。電話等で相談をお受けする遠隔サポートになりますが、次にどうすればいいかできるだけ具体的にお答えします。
3. 今のうちからCOVIDに罹った場合の想定をしてください。
(支援者の準備、受診する病院の情報収集、旅行者保険など)
4. 長期の緊張状態ではストレスマネジメントも重要になります。

参考：職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド第3版
(日本渡航医学会 日本産業衛生学会 8月11日)

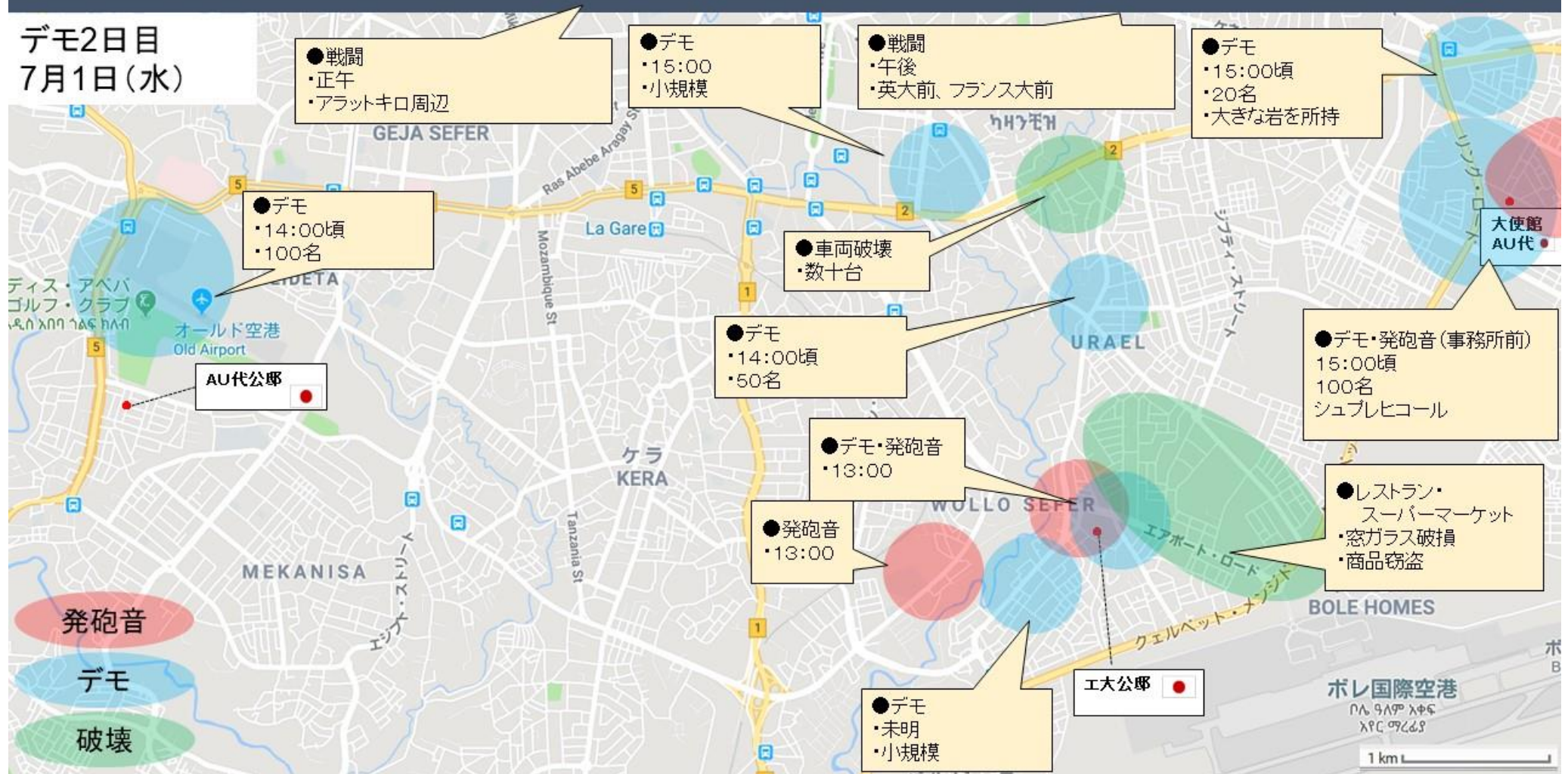
大規模デモ発生に関する被害状況まとめ

デモ初日:
6月30日(火)



大規模デモ発生に関する被害状況まとめ

デモ2日目
7月1日(水)



オロモ系歌手殺害事件

1. 事件の概要

- 6月29日、アディスアベバにて、著名なオロモ人歌手であり活動家のハチャル・フンデサ氏が何者かにより殺害。
- 遺体の埋葬場所をめぐり、ジャワール・モハメド氏率いる集団と治安部隊が衝突。同氏やベケレ・ゲルバ・オロモ連邦会議副議長などの有力野党政治家が複数の容疑で逮捕。アディスアベバやオロミア州で暴動が発生し、治安部隊と衝突した他、コミュニティ間の暴力へと発展。事件後、政府は2週間以上にわたり、エチオピア全土でインターネットを遮断。

2. 事件の背景:オロモ人の政治的・歴史的不満

- オロモ人はエチオピアの最多数派民族(2007年時点で約34%)であるものの、TPLF(ティグレ人民解放戦線)が主導する前政権下では、様々な抑圧(土地収奪政策や対テロ法による取締り等)を受けていた。2015年以降、オロモ人による反政府デモが拡大し、2018年2月、ハイレマリアム前首相が辞任。
- 2018年4月のアビィ首相の就任は、当初オロモ人から広く歓迎。アビィ首相は、リベラルな改革が評価されるも、民族融和及び汎エチオピア主義的な政治改革(各民族政党によって構成された旧EPRDF(エチオピア人民革命民主戦線)の解体等)を実行し、自民族であるオロモ人の権利を十分に主張していないとして、オロモ内部から批判の声が高まった。
- 2019年10月、ジャワール氏の身体の安全をめぐり、Qeerroo(若者を中心としたオロモ人の集団)や反政府デモ隊と治安部隊が衝突。アビィ首相率いる連邦政府とオロモ主義勢力との間で対立が更に深まった。

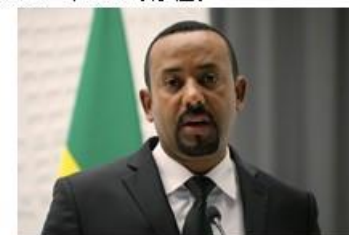
3. 事件の余波

- 21日、連邦検察は連邦高等裁判所に対し、対テロ法や通信詐欺法、小火器管理・規制法等の法律に違反した他、民族的・宗教的暴力を扇動した罪でジャワール氏を、同じく小火器管理・規制法違反や民族的・宗教的暴力を扇動した罪でベケレ氏を、それぞれ起訴した。
- 政府は、民主主義の前提として法の支配を確立しなければならないという姿勢をより鮮明にし、反政府デモや野党政治家、ジャーナリストに対し、治安部隊や法執行機関による取締りを強化。
- オロモ主義勢力は、アビィ首相が選挙を有利に進めるための政治的策略を取っており、自身の汎エチオピア主義的ビジョンに相反するオロモ主義を抑圧しようとしていると批判を強めている。また国際人権NGOからは、政府の取締りによる人権侵害の疑いの報告がなされている。
- オロミア州内では、事件後も断続的に反連邦政府のデモ隊と保安部隊との衝突が発生。多数の死傷者がでている。



ハチャル・フンデサ氏

2015年以降の反政府デモでは同氏の楽曲が使用されるなど、オロモ人の間ではアイコン的存在。



アビィ首相

「この状況で、エチオピアにとって法の支配を保持して秩序を維持することは必要不可欠である。」

→9月17日付エコノミストにおけるアビィ首相本人の寄稿より抜粋



ジャワール・モハメド氏

反政府デモにおいて指導的立場をとった、オロモ民族主義的政治家。

10月5日発表新規定

1 入国規定

- ・ 入国後1週間、自宅において自主隔離
- ・ 10歳以上はPCR検査の陰性証明を携行
- ・ 陰性証明は到着前120時間以内
- ・ 空港におけるPCR検査は廃止（検温と問診）
- ・ トランジット客は陰性証明必要なし

2 その他

- ・ 握手の禁止
- ・ マスク着用義務
- ・ ソーシャルディスタンス
- ・ 集会は50名までOK

国際的な人の往来再開に向けた段階的措置の運用開始

1 渡航目的

- (1) 短期滞在（商用）
- (2) 中長期滞在

2 発給要件

- (1) 通常の申請書類
- (2) 質問票
- (3) 誓約書